

## 若手からベテランまで共に成長できる組織へ！

藤岡建設株式会社 管理統括 / 藤岡 優一 氏 (IRCニュー・リーダー・セミナー31期修了生)

藤岡建設株式会社は、土木工事の施工管理を中心とした総合建設業である。「愛媛県優良建設工事知事表彰」を9年連続で受賞し、施工管理技術には定評がある。

創業は1955年。優一氏の義理の祖父である安太郎氏が左官職人として独立したのが興りである。その後業容を拡大し、現社長の一貴氏が産業廃棄物の処理やバイオマス発電に利用する木質チップの製造などの事業も始め、現在に至る。

同社は「捨てない土木で資源の活用」をモットーに、「現場循環型工法」に取り組んでいる。工事現場で排出された建設廃材をその場で分別・処理して再利用することで、廃棄物の削減や資源の保全につなげている。同社では多様な建設重機を80台以上保有(県内トップクラスの規模)しており、コンクリートやアスファルト、建設汚泥などの再利用に幅広く対応できる。

優一氏は「今は若手人材の採用と育成に力を入れている」と話す。昨年4月に施工管理職をサポートする専門チームを新設し、大学生を対象に新卒採用を始めた。これまでは工業高校卒の採用が中心だったが、大学進学率の上昇や人口減少を考慮してターゲットを変更した。それにあわせ、福利厚生制度の見直しやメディア展開の強化に取り組み、合同説明会にも参加し始めたところ、昨年は5名、今年は3名の入社につながった。

新入社員には1か月間の研修を実施した後、一定期間マンツーマンで指導している。また、専門資格の取得支援はもちろん、ドローンやレーザースキャナーを利用したICT施工技術の教育も行っている。

「若手からベテランまで、皆が知恵を出し合って共に成長できる組織をつくりたい」と、優一氏。その第一段階として、過去の工事のデータベース化や工程のマニュアル化でノウハウの蓄積・共有を進めている。

今後も人と環境を大切に考えた組織運営を続けていけることだろう。

(川尻 麻美)



### ☑ PERSONAL QUESTION

藤岡 優一 (ふじおか ゆういち) 1985年10月出生

#### 座右の銘

人間万事塞翁が馬。  
人生は予想外の連続。なかなか予測は難しい。  
目の前の状況が良ければ油断しないよう、悪くても落ち込まないように心がけている。

#### 趣味

筋トレ、ゴルフ、サッカー。  
ベンチプレス130kgを挙上。筋トレを通じて自己管理能力が向上した。

#### 感銘を受けた言葉

「現状維持は衰退の始まり」  
前職の上司に言われた。今は100点でも、時代が変わると評価も変わる。常に改善を図っていく必要がある。

### 【会社概要】

〒799-1371  
西条市周布1758-3  
TEL / 0898-68-7239  
資本金 / 3,000万円  
売上高 / 単体25.9億円  
従業員 / 単体27名

グループ54名(パート含む)

